

私たちの公共交通

室蘭線の維持・利用促進に向けて

問合せ 地域推進課地域推進グループ ☎ 7083

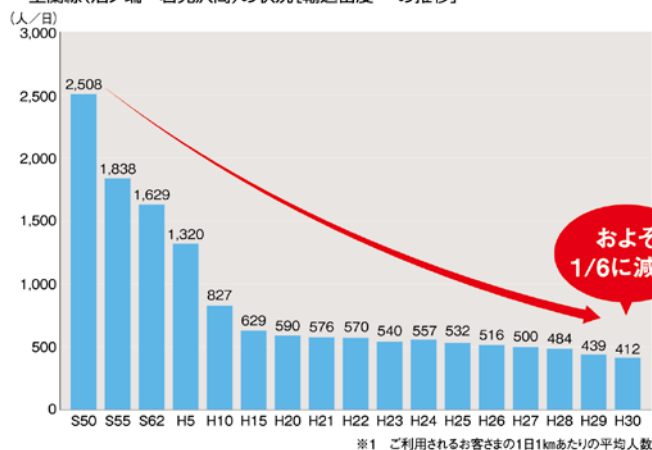
安平町に4駅を有し、まちの中心を走る鉄道「室蘭線」。JR北海道は、平成28年11月、この室蘭線（沼ノ端～岩見沢間の67km）の線区を「JR単独では維持することが困難な線区」の一つとして発表しました。

室蘭線は、主に通学や通院など日常生活の足として利用されていますが、沿線人口の減少や少子高齢化、自家用車の普及などにより、利用者の数は昭和50年度に比べて約6分の1まで減少している状況です。

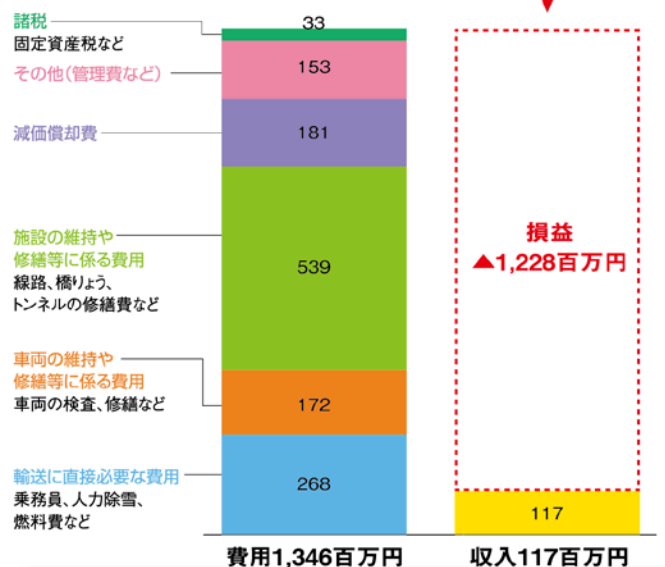
JR北海道及び室蘭線沿線の市町では、室蘭線の維持・利用促進に向けて各種取り組みを進めていますが、沿線住民の私たちは、改めて室蘭線の厳しい状況を知ると同時に、子どもたちの進学先への影響や住みよいまちづくりの根幹を揺るがす大きな問題が生じていることを強く認識し、これまで以上に「鉄道の利用・活用」について行動を起こしていく必要があります。北海道の鉄道ネットワーク・ワーキングチームフォローアップ会議座長などを務める北海道大学の岸准教授は、「道民500万人が一人あと4,000円鉄道を利用することでJR北海道の赤字は解消される」と提唱しています。

室蘭線をはじめとする元気な公共交通の実現に向け、考え、行動してみませんか？

室蘭線(沼ノ端～岩見沢間)の状況[輸送密度※1の推移]



2018(平成30)年度 室蘭線収支状況



みんなで乗れば、
未来が変わる。

考えよう。行動しよう。公共交通の未来。

道民自らが「乗る！」

仕事やレジャーなどにおける、鉄道やバスなどの公共交通機関の利用を図る。

道外・海外から「利用者呼び込む！」

鉄道を活かした魅力ある観光地づくりや、情報発信、誘客活動などを行う。

鉄道の維持や魅力向上のため「行動する！」

駅や車両の魅力向上など、様々な取組を通じて、鉄道に対する応援活動を行う。

(北海道鉄道活性化協議会が提唱する「道民運動」のイメージより)

